

Case 37-2006: A 19-Year-Old Woman with Thyroid Cancer and Lower Gastrointestinal Bleeding
(Volume 355: 2349-2357)

【症例】 19 歳女性

【主訴】 無痛性の下血(直腸出血)

【現病歴】

生来健康。8ヶ月前に甲状腺結節の fine-needle aspiration biopsy にて甲状腺乳頭癌と診断。甲状腺全摘術施行し、病理学的に cribriform-morular variant の甲状腺乳頭癌と判明。リンパ節転移(-)、遠隔転移(-)。術後に ^{131}I 静脈内投与し、その後経過良好。

手術のための入院時 Ht 32.7%, Hb 10.6g/dl, MCV $82\mu\text{m}^3$ 。6週間後も同様の値でさらに Fe $26\mu\text{g/dl}$, TIBC $336\mu\text{g/dl}$, ferritin 5ng/ml。鉄剤が処方されたが、痙攣性腹痛が出現したため 2ヶ月で内服をやめた。

2週間前、Fe $20\mu\text{g/dl}$, ferritin 6ng/ml。便潜血反応(+)にて消化器外来を紹介受診した。

倦怠感(-)、腹痛(-)、排便習慣の変化(-)、排便痛(-)、悪心(-)、嘔吐(-)、食欲低下(-)、体重減少(-)。

【既往歴】 甲状腺乳頭癌。頭頸部への放射線照射歴なし。毒素への暴露なし。

【家族歴】 父方の祖父：甲状腺腫。父方の祖母：肺癌。母方の大祖母 3人：各々大腸癌、乳癌、肺癌。母方の曾祖母：肺癌。両親と 2人の姉妹に異常なし。

【生活歴】 喫煙歴(-)、飲酒歴(-)、非合法ドラッグ(-)。高校 3年生。

【入院時処方】 levothyroxine, calcium supplement

【入院時現症】

〔バイタル〕 身長 167cm, 体重 61kg, BP 115/54 mmHg, HR 73.

〔胸部〕 呼吸音正常。心音正常。胸骨左縁に第 2 度の収縮期駆出性雑音あり。

〔腹部〕 腹部は軟、反跳痛(-)、筋性防御(-)。腫瘤なし、臓器の肥大なし。

皮膚病変なし。筋骨格系異常なし。神経学的異常なし。

ここで、ある診断的検査が行われた。